エレベーター製品情報システム

市岡洋一*　石井元彦*
堀場一夫*　勝山恒吉**
岩田正一*

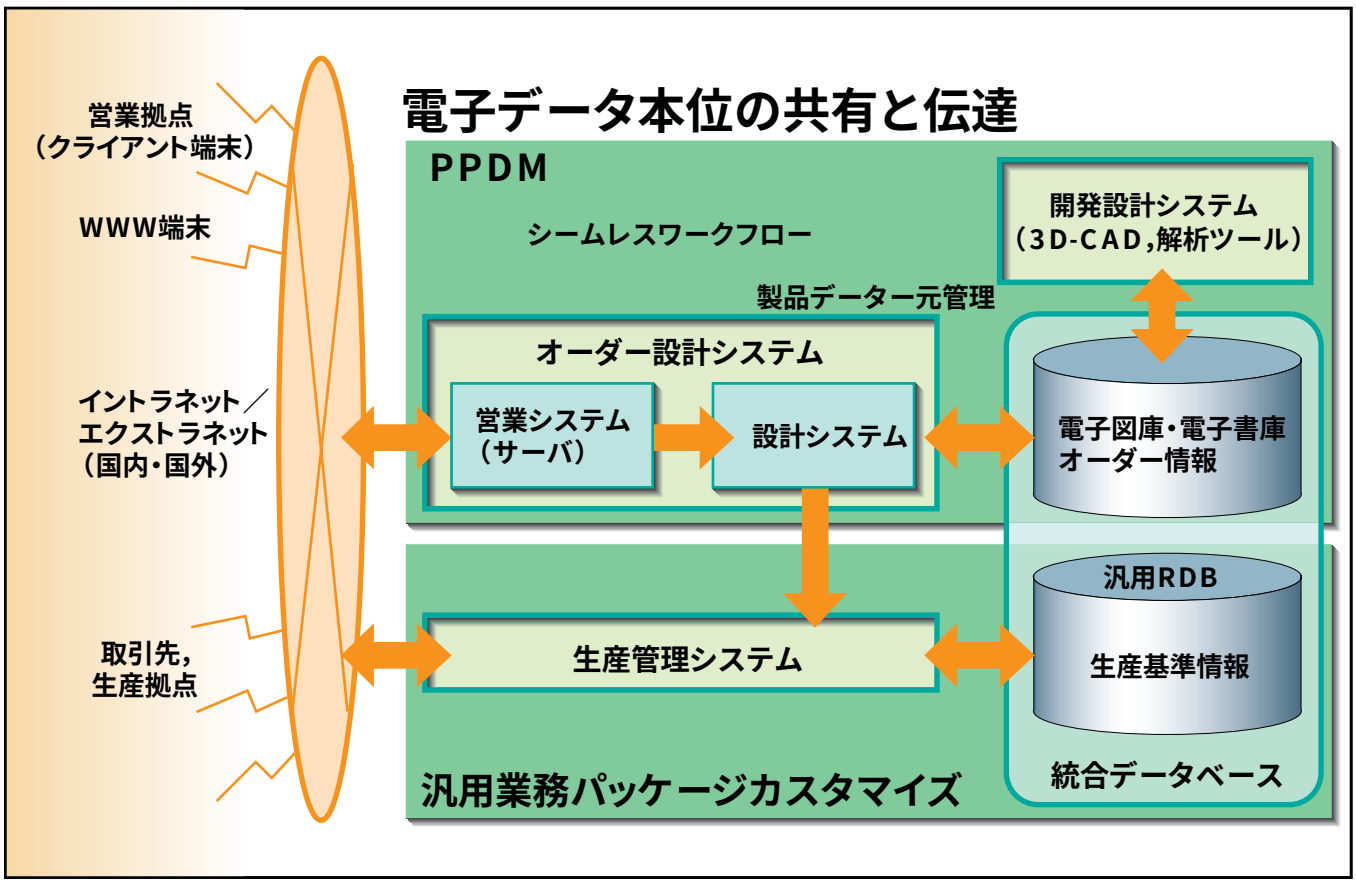
要　旨

エレベーターは，ビルの交通インフラストラクチャとして社会的使命を担っている。そのメーカーとして三菱電機は，時代の要求に新技術でこたえたエレベーターを迅速に供給しなければならないと考えている。またエレベーターは，それが納められる個々のビルの用途・構成によって異なる。そこで，その供給の際には，個々(オーダーごと)のエレベーターを的確かつ迅速に設計・生産する必要があるとも考えている。

そのため当社は，下記ようなエレベーター製品情報システムの開発に当たっている。

- ビルの用途・構成の変化に対応したエレベーター製品情報の電子データ化
- その管理や活用のための電子データのシームレスフロー化
- 上記の実現に当たってのグローバルスタンダードな技術やツール及びパッケージの活用(三次元CAD(Computer Aided Design)やPPDM(Process & Product Data Management)やRDB(Relational Data Base)，汎用業務パッケージERP(Enterprise Resource Planning)，WWW(World Wide Web)など)

このほど，このエレベーター製品情報システムとして核となる下記のような開発設計システム／オーダー設計システム／生産管理システムを開発し実用化した。



エレベーター製品情報システム

開発設計システム　　：構想設計から生産設計まで，電子データフローによってトップダウン設計を実現する。
オーダー設計システム：オーダーごとの仕様から品目表(オーダーごとの仕様を満たす機器図面一覧)までの電子データフロー化を実現する。
生産管理システム　　：ビルの用途・構成に対応するよう変数を含んだ図面からの生産情報を自動生成する。